



市民参画と協働による まちづくり通信

第2回市民参画等推進委員会を開催！

3月10日(日)10時～12時、コミセン治田東において、「第2回栗東市市民参画等推進委員会」を開催しました。

「平成25年度の協働事業提案に基づく協働事業報告」「市民参画と協働の実施状況について」「栗東市職員協働事例集(案)」について協議しました。委員からは、「協働事業のレベルアップをしてほしい。」「市民活動団体がもっと増えてほしい。そのためにPRをもっとすべき。」「職員の中で参画と協働が根付くような雰囲気づくりが大事。」「事例集を幅広く市民の方にもわかるようにしてほしい。」とご意見をいただきました。市民参画と協働がより進むように、今後に活かしていきたいです。



協働によるまちづくり推進研修を実施

3月18日(月)主事、主事補級を対象に、協働によるまちづくり職員研修を実施しました。西川実佐子先生を講師にお呼びし、「協働を進めるために～情報共有の手法～」として、ワークショップを交えた講演をしていただきました。協働をする時には、事業の目的・目標を一致させることが大切です。そのためには話し合いを上手に進めることが必要です。研修では話し合いを上手に進めるための技術(ファシリテーションのスキル)と、ホワイトボードや大きな白い紙を使い、出てきた意見をみんなで共有する方法を学びました。そうすることで、話しの流れがわかりやすくなったり、自分の意見が伝わったという確認ができたり、話し合いの共有の記憶を持つたりすることができます。参加職員のアンケート



からは、「少しでも市民の方の意見を反映できるように取り組む。」「課内において、目標・目的を共有し、様々な意見交換をしながら同じ認識をもって事業を進めていきたいと思います。」「今の仕事は協働に関連がないと思っていたが、同じ目的目標のために共に活動することはすべてにおいてつながるので意識して参画していきたいと思う。」などの意見が寄せられました。



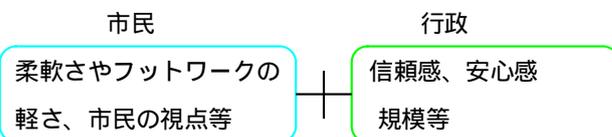
協働コラム

協働ってどんなこと？

市民と行政が、課題の解決に向けて、お互いの利点を活かして、より良い効果を生み出すことです。

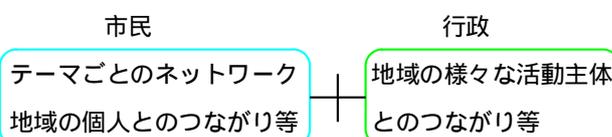
協働によってどんな効果が期待できるの？

・お互いの特性や得意分野を活かすことで、アイデアが豊富になったり、事業が円滑に進みやすくなったりします。



スピーディーな事業展開、きめ細やかな対応+事業の信頼性アップ

・お互いのネットワークを利用して、幅広い事業展開ができます。



利用者・参加者の増+事業協力者の増+効果的PRが可能に！